



大田区立馬込第二小学校

# 学校だより

令和二年 五月号

## 非常事態宣言下の過ごし方

皆様には、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校教育だけでなく、生活や経済活動等、様々なことでご心配やご苦労をされているかと存じます。

小学校では、四月六日に始業式と入学式を開催することができたものの、今のところ5月末までの臨時休業が決まっています。教科書の受け渡しの際に、ご家庭でのお子様の様子を伺いましたが、一年生のあるお宅では、毎朝、ランドセルを背負って、黄色い帽子を被って登校を楽しみにしているという話があったことを聞きました。誰もが学校で過ごすことを待ち望んでいることが分かり、早い実現が望まれます。

ご家庭では、学習を含めて、その過ごし方等について、ご協力をいただいているところで、感謝しております。教科書等は配布していますが、新しい学年の学習を家庭ですすめていくことについて難しい面もあり、同時双方向型オンライン授業等もできない現状ですので、ご苦心をされている方も多いと思います。

家庭で過ごす時間が長くなると、ゲー

ムやスマホ等をしている時間も気になるところです。楽しい面もありますが、弊害もあります。二年生以上ではすでに話し合っていて決めているご家庭も多いと思いますが、「家庭でのルール」を決めたり、確認したりすることも、進級を機に必要だと思えます。一日の時間の使い方・生活習慣についても確認をしていただければと思います。

「脳トレ」の監修者で東北大学の川島隆太教授は、スマホの長時間の利用がせつかく学習した効果を打ち消すことを明らかにしています。長時間（一時間未満は学力に大きな差はないとのことです）の使用は学習に影響を及ぼすので、注意が必要です（他にも課金の問題や個人情報流出、会話等でのトラブル等、様々な問題が考えられます）。

また、川島教授は、読んだり書いたりするからこそ、学びが深くなり、脳科学者らしく、「より面倒で厄介な方法」の方が、脳はよく働くと言っています。読書を習慣化している子どもは、脳が発達しているというデータもはっきりと出ているそうです。音読も有益であるとの研究もあります。

このような研究成果は、ご家庭での取り組みの参考になると思います。本を読む、音読をする（同じ文章を繰り返し読んでも、脳を働かせる効果は同じだそうです）、漢字の書き取りをするなどです。真新しいことではありませんが、能力を高めていくことについて、その効用は証明されていますので、引き続きご家庭で取り組んでいただければと思います。その他にも、本校のホームページ上や各学年のあたりには、家庭学習に参考になることが載せてありますので、ご活用いただければと思います。

健康や命を守るということが第一で、そのために世界全体が動いている最中ですので、何とか乗り切っていければと念じています。ご心配のことがあれば、平日は教職員が当番を決めて勤務しております。スクールカウンセラーにつなぐこともできます。

今年度は、今までの火曜日（川端）の他に、金山カウンセラーが木曜日に勤務をすることになり、体制強化を図られました。電話で予約ができますので、事前に連絡をいただくと助かります。

新型コロナウイルス感染症は、分からないことが多く、国や東京都、大田区の方針が急に変更になることがあり、保護者の皆様にはご迷惑をおかけしております。学校もその都度対応をしなければならず、十分な説明や対応ができない状況ですので、申し訳なく思っておりますが、事情を察していただけだと思います。今後も、情報等は、学校のホームページや学校緊急メールでお伝えをまいります。

なお、土曜日と日曜日は、学校の施設管理の職員も現在不在となっております（平日は、午後八時までの勤務）ので、ご注意ください。

今年度の本校の予定を現時点で明らかにするのは難しいのですが、外壁工事（今年度は、体育館棟とプール棟）があるため、当初は一学期に実施を考えていた運動会については、残念ですが一学期は中止といたします。遠足や社会科見学等の校外学習も一学期は実施できません。学習の遅れを取り戻すために、夏休みも短縮の方向性を考えざるを得ません。今後も、学校の再開時期に応じて、学校行事等の実施の可否を決めていくこととなりますが、授業時間を確保していかなければならないので、行事等はかなり精選されることとなります。

明確に申し上げられないことが多く申し訳ありませんが、このような状況だからこそ、一人ひとりの協力や実行力が必要で、知恵を出し合い、互いに協力をしながら、国難を乗り切っていければと思います。

最後になりますが、皆様のご健康を祈念しております。